

# 平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

## 3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日 平成27年2月19日	評価者・組織 学校評価委員会	評価日 平成27年3月5日
1 確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る	・朝読書の完全定着と毎月の読み聞かせ実施 ・年三回の研究授業の実施	毎朝の朝読書と毎月の読み聞かせ回数	・ボランティアによる読み聞かせ12回実施 ・年三回の研究授業の実施	⇒	・全教育課程に於いて言語活動の充実に力を注いだことにより、授業改善や学習確認プログラムの結果にも効果が出てきている。 ・「宿題以外に家庭学習に取り組んでいる」生徒の割合が目標の70%に達している。 ・「読書は好きである」と答えた生徒の割合が目標の80%に達している。	・授業の中で自分の意見を述べたり、他の意見と比較してより良い答えを導き出すような取組をさらに推し進める。 ・西院版「自学自習のすすめ」を作成していく。また、宿題の出し方・量・内容について研究していく。 ・朝読書や地域ボランティアによる読み聞かせなど、効果が出ているので引き続き取り組んでいく。
	言語活動を取り入れた授業改善	・各教科での言語活動の充実 ・各教科で発表会等の双方	学習確認プログラムの各教科で、活用問題の指標結果	3学年とも実施して、2、3年では外部にも公開	⇒	・地域行事などボランティア活動に参加している生徒の割合が非常に高い傾向が続いている。 ・自己有用感や「将来人の役に立つ人になりたい」など全校生徒の意識が高い。また、「将来人の役に立つ人になりたい」では、学年が上がるごとに割合が高くなっている。	・地域や社会と連携した体験活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させて、自己有用感を持つ機会を増やす。 ・規範意識については、学年代議委員会や生徒会活動を活化して、生徒の自治活動により高めていく。
	総合的な学習の時間の充実	・体験を通した活動から、アウトプットする授業の工夫 (ポスター発表など)	探究や体験を通した活動から、アウトプットする授業の工夫 (ポスター発表など)	探究や体験を通した活動から、アウトプットする授業の工夫 (ポスター発表など)	⇒	・中学校来校時に、生徒から心地よい挨拶をしてくれている。 ・生徒アンケートでの「学校生活は楽しい」で、「そう思う」「大体そう思う」生徒の割合は、92%	・中学校来校時に、生徒から心地よい挨拶をしてくれている。 ・地域としても学校運営協議会としても、西院の子を共に育てる意味でも連携して協力していかたい。
2 豊かな心	人権を尊重する心の育成	・道徳、特別活動、総合的な学習の時間の工夫	生徒アンケートでの「人の役に立つ人になりたいと思う」	「そう思う」「大体そう思う」生徒の割合は、91%	⇒	・地域や社会と連携した体験活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させて、自己有用感を持つ機会を増やす。	・地域や学校などで、大人も気持ちよく挨拶をしていきたい。
	学校規律の醸成	・毎朝の全職員によるあいさつ・声かけの取組	生徒アンケートでの「進んであいさつができる」	「そう思う」「大体そう思う」生徒の割合は、92%	⇒	・規範意識については、学年代議委員会や生徒会活動を活化して、生徒の自治活動により高めていく。	・地域としても学校運営協議会としても、西院の子を共に育てる意味でも連携して協力していかたい。
	自己有用感を感じさせる取組充実	・C(クリーン)G(グリーン)H(ハート)W(ハート)活動の取組 ・全教育活動に於いて生徒による自主企画・自習運営による手法の徹底	生徒アンケートでの「自主企画・自主運営を通して自分で考え、判断し、行動する力がついてきている」	「そう思う」「大体そう思う」生徒の割合は、91%	⇒	・中学校来校時に、生徒から心地よい挨拶をしてくれている。 ・生徒アンケートでの「学校生活は楽しい」で、「そう思う」「大体そう思う」の割合が90%以上よりも、「あまり思わない」「そう思わない」が9%が気になる。	・地域や学校などで、大人も気持ちよく挨拶をしていきたい。
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	・早寝・早起きや携帯スマートの弊害についての呼びかけ	生徒アンケートでの「学校のきまりや約束ごとを守っている」	「そう思う」「大体そう思う」生徒の割合は、94%	⇒	・教師による押しつけにならないよう、生徒の力を引き出し、自分たちの基本的生活習慣を確立していく。 ・健康や体力増進及び体調管理など、委員会便りや学年・学級便りで啓発強化する。	・基本的生活習慣の確立にむけては、現在、学校で頑張ってもらっているが油断をせずにお願いしたい。 ・体を動かす行事や部活動について、今後も取組を充実してほしい。
	運動する機会の充実と体力向上	・生徒全員入部制の部活動の充実 ・学年スポーツなどの企画	・生徒全員入部制の状況 ・学年・学校全体の体育的行事の自主企画・自主運営達成	・生徒全員入部を達成 ・学年・学校全体の体育的行事の自主企画・自主運営達成	⇒	・「学校のきまりや約束ごとを守っている」ができる割合は目標の90%を超えて成果が出ている。 ・体を動かすことが好きな生徒の割合も高まっている。	・自然災害や事故、非行防止などについて、地域と連携している取組を今後も続けていきたい。 ・防犯について、地域のできることを進めていく。
	4 独自の取組	小中一貫教育の推進	・小中合同授業研修会の実施	小中の連携が組織的に取られているか	・小中合同主任会を月1回ペースで実施。 ・年2回の授業合同研修会を実施。	⇒	・「小中の授業内容を参観し、意見交換をする機会や小中合同主任会が1年間通してできた」という声が多かった。 ・地域との連携を含んだ総合的な学習が実施でき、ポスター発表等で複数学年の双方の言語活動として取り組むことができた。
	家庭・地域・学校(保幼小高)との連携	・西院デイアの実施 ・西院ふれあいコンサート(保・幼・小・中・地域参加)の実施	取組の実施・参加状況と感想	各取組とも実施。地域及び保健所・幼稚園・小学校の取組後の感想は上場であった。	⇒	・本校のOGH活動の質の向上を図るために、より一層、意義や目的を明確にして全教職員で支える体制を強化したい。	・地域のふれあいコンサートなどの小中合同行事には、今後も地域をあげて支援していく。 ・地域で活躍する場を、負担がかかりすぎないように協力していきたい。
	キャリア教育(国際理解教育含む)の充実	・異文化理解、国際理解教育の充実	韓国の姉妹校との交流学習(総合的な学習の時間)実施状況	ハンガリー講座を実施し、異文化を理解し、姉妹校へ作品の交流実施			

## 4 総括・次年度の課題

- ・言語活動の定着や中高連携による探究活動などの取組について、関係者評価において評価をいただいた。さらに取組の推進を図っていく。
- ・学校評価を通じ、保護者や地域の方に本校の教育活動について、理解を深めていただくことができた。
- ・次年度に向けて、学校運営協議会がさらに深い話し合いを進めることが必要。
- ・今後の義務教育小中9年間の生徒数の推移を見て、教育環境を整えていくようにしていきたい。